

# 第36回 北河内大会運営総括

## 1、実施形態

- ・完全オンラインで実施
  - ・申し込みは Googleform で行った。詳しくは申し込み総括参照
  - ・参加費 提案集あり 2000 円 分科会データのみ 1000 円
  - ・参加費に関して、学生料金を設定すべきであった。
  - ・要綱に「いかなる場合であっても、申し込み完了後の返金は致しません。」の一文を入れる必要がある。
  - ・ネットの不具合により参加できなかった人がいた場合の対処方法について、確認しておく必要がある。  
今回は幼年に参加していた居相さんが、自身のネットの不具合により途中から参加できなかったと、塩田さんから連絡があった。提案集を申し込んでおられなかったため、連絡を取って発送予定。
  - ・提案集データは、ドライブにあげて設定を共有にし、入金を確認できた参加者にURLを送って自分でダウンロードしてもらうようにした。
- メールの内容が一括で済むので、運営の負担軽減になる。また、同志会の実践を広く知ってもらえるきっかけになる。
- ・大会ロゴデ Tシャツデザイン 吉村さん
  - ・速報 「みんなよして」→オンライン大会の為、提案集発送の際に同封した  
当日は1日大会の為、感想を載せて発行はしていない。

## 2、9月5日(日) リハーサル&zoom 接続テスト、提案集発送作業

- ・全教・枚方教職員組合事務所 8:30集合 9:00開始
- ・参加者 会場参加 実行委員、日名さん  
オンライン参加 各分科会の発表者 基調提案 記念講演など発表者
- ・大会と同じ時程で開始できるか確認
- ・各分科会担当と、大会運営員で当日の分科会の運営確認 時程、司会進行 提示資料の確認、画面共有など

## 3、9月12日(日) 大会当日

- ・全教・枚方教職員組合事務所 8:30集合 9:00開始
- ・会場参加 実行委員 菅、城尾、岩下、中村、市川、森  
日名さん 上野山さん
- ・Zoom は開始30分前から開設し、みんなが入りやすいように配慮した。  
→グラドルールとして、カメラオン、大きなリアクション、リラックスして大会を楽しむことを伝えた。  
→ブレイクアウト room は、運営が割り振るのではなく、自分たちで選択して入ってもらう方法にすると割り振る手間が省けてよい。  
→名前の変更で、自分の名前の前に参加する分科会を書いておいてもらうと割り振りやすい。
- ・午前 (オープニング・基調提案・記念講演)、分科会1、分科会2の感想はそれぞれのチャットもしくは、Googleform のアンケートに答えてもらった。  
→チャットの保存でデータ化、アンケートフォームの URL を共有して、参加者全員が見られるようにした。

・ 閉会行事

各分科会から1名2分程度で感想を言ってもらい、最後に古川さんから5分で話してもらった。

4、司会の流れ

司会原稿

- 1、司会開会宣言
- 2、実行委員長あいさつ
- 3、支部長あいさつ
- 4、オープニング ムービー
- 5、事務連絡
- 6、基調提案
- 7、休憩
- 8、記念講演→ブレイクアウト→質疑応答
- 9、昼休憩
- 10、分科会 1
- 11、休憩（ブレイクアウトルームの再設定）
- 12、分科会 2
- 13、閉会行事
- 14、各分科会から一言 2分 6分科会
- 15、研究部長より 5分
- 16、事務局長より
- 17、事務連絡
- 18、閉会宣言

## 【提案集について】

- ・インターネットでの注文・入稿で、大阪イシダ印刷に依頼。良心的で対応も丁寧でよかった。
- ・今年は、参加者が提案集を注文するかしないかを選択できたので、印刷する冊数を決定するのが難しかった。
- ・早く仕上げてもらうため割高にはなるが、申し込みを締め切って、必要冊数を確定してから印刷会社に発注するのもひとつの方法。

## 【オープニングムービーについて】

- ・依頼の仕方が同じでも、受け取る方によってイメージが違って、まとめるのが難しい所もあった。
- ・皆さん快く引き受けてくださってありがたかった。